

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

カンキツ類のチャノキイロアザミウマの防除対策（技術情報第12号）について（送付）

チャノキイロアザミウマが県内の一部カンキツ類ほ場で多発生しており、今後、本種による被害が増加すると予想されます。園地における発生を確認し、下記の点に注意して防除して下さい。

記

1. 発生状況：

- 1) 9月の巡回調査における被害果率は2.0%（平年3.7%、昨年0.5%）と平年比やや少であるが、一部に被害果率が高い地域が見られ、昨年比やや多となっている（図1）。
- 2) 黄色粘着トラップ（熊本市河内町）における誘殺数は、8月下旬から増加傾向にあり（図2）、今後被害が増加すると予想される。
- 3) 福岡管区气象台が9月9日に発表した1ヶ月予報によると、気温は平年より高く、降水量は平年並と予想しており、発生に好適な状況が続くと思われる。

2. 防除対象作物：カンキツ類

3. 防除上注意すべき事項：

- 1) 果頂部への後期被害（9月以降に生ずる褐色の雲形や放射状の傷）を抑制するため、9月中旬に薬剤防除を行う。
- 2) アメダス地点の有効積算温度シミュレーションによる第7世代の羽化最盛期は、熊本（9月9日）、三角（9月18日）、本渡（9月22日）、八代（9月15日）、水俣（9月18日）と予想されている。
- 3) 防除が必要となる密度は、果実洗浄法^{注1)}で15頭/100果、黄色粘着トラップ^{注2)}調査で2～2.5頭/日である。

^{注1)} 果実（100果）を5,000～10,000倍に薄めた展着液または洗剤で洗い、ティッシュペーパーで濾した後、ルーペや実体顕微鏡で虫数を数える。

^{注2)} 長さ20cm、幅10cmの黄色粘着板を使用した場合。

- 4) 防除にあたっては、必ず収穫前使用日数や使用回数を遵守する。また、他作物への薬液の飛散にも十分に注意する。
- 5) イヌマキ、サンゴジュにも寄生するので、これらを防風樹にしている園では発生に注意する。

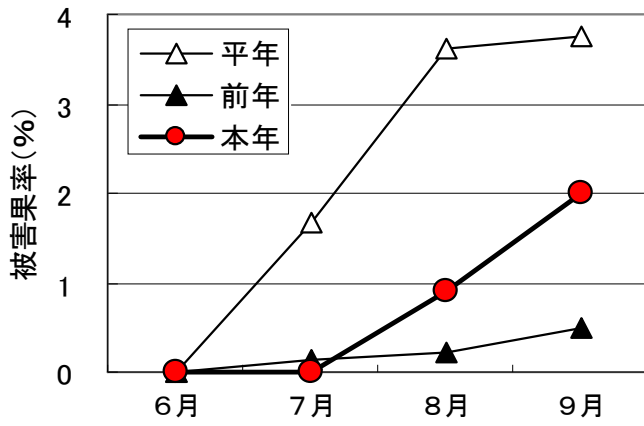


図1 巡回調査におけるチャノキイロアザミウマ被害果率の推移

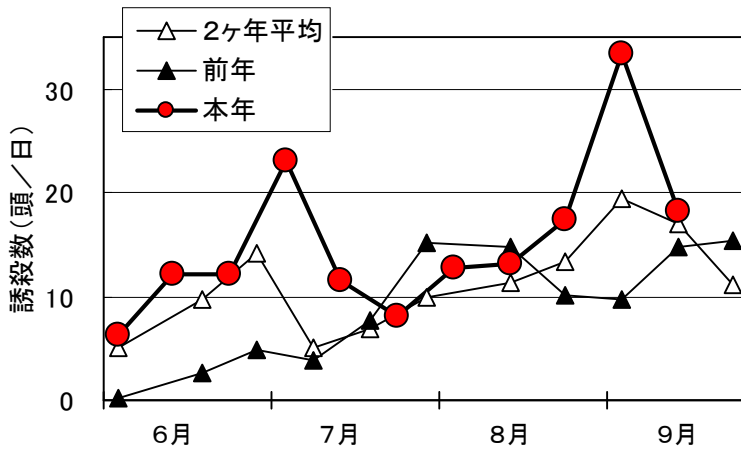


図2 粘着トラップへのチャノキイロアザミウマ誘殺数の推移(熊本市河内、9地点平均)

問い合わせ先

熊本県病害虫防除所
(農研センター生産環境研究所)

担当：清永、山口

TEL：096-248-6490

FAX：096-248-6493